

**全国のE Vユーザーによる太陽光余剰電力
の有効活用に向けたE V充電実証（秋）**
～環境省が推進する「デコ活」をみなさまとともに～

2025年9月
株式会社エネゲート



1. 目的

ゴールデンウィークでの実証（価格誘導によりE Vユーザーに行動変容が確認できたものの、膨大な太陽光余剰に対しE V充電電力量はわずかであることを確認した）に続き、太陽光の余剰電力が発生しやすい（電力需要が少なくかつ太陽光の発電量が多い）秋において、太陽光の余剰電力を少しでも多くE V充電で消費拡大できるよう、広くE Vユーザーに呼びかける活動を展開していきます。

2. 意義

- ・本実証でE Vユーザーが割引時間帯に充電する電気は、太陽光由来のよりクリーンな電気であることを広く知っていただくとともに、E Vユーザー一人ひとりが脱炭素社会につながる一歩を踏み出すきっかけになるものと考えています。
- ・この活動は環境省が推進する国民運動「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）※の一環であり、E Vユーザー、充電器設置事業者のみなさまとともに参画するものです。

※参照 [デコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）](#) | 環境省



実施内容

①実施期間

2025年10月11日（土）～ 2025年11月3日（月）期間中の土・日・祝日

②実施エリア

全国を10エリアに分けて実施

③実証参加者

事前にエコQ電アプリから登録（無料）を行っていただきます。（エコQ電利用者は手続き不要）

④割引率

各充電器の利用料金に対し、実施エリア毎に最大50%の割引率を設定します。

⑤割引時間帯

9時～16時の時間帯で実施エリア毎に設定します。

⑥割引率の事前通知

休前日の15時に全国10エリアの土日祝日の割引率をまとめてエコQ電アプリの通知にてお知らせします。

⑦対象充電器

全国約3,200台の急速充電器（エコQ電カード・アプリで充電可能な急速充電器）

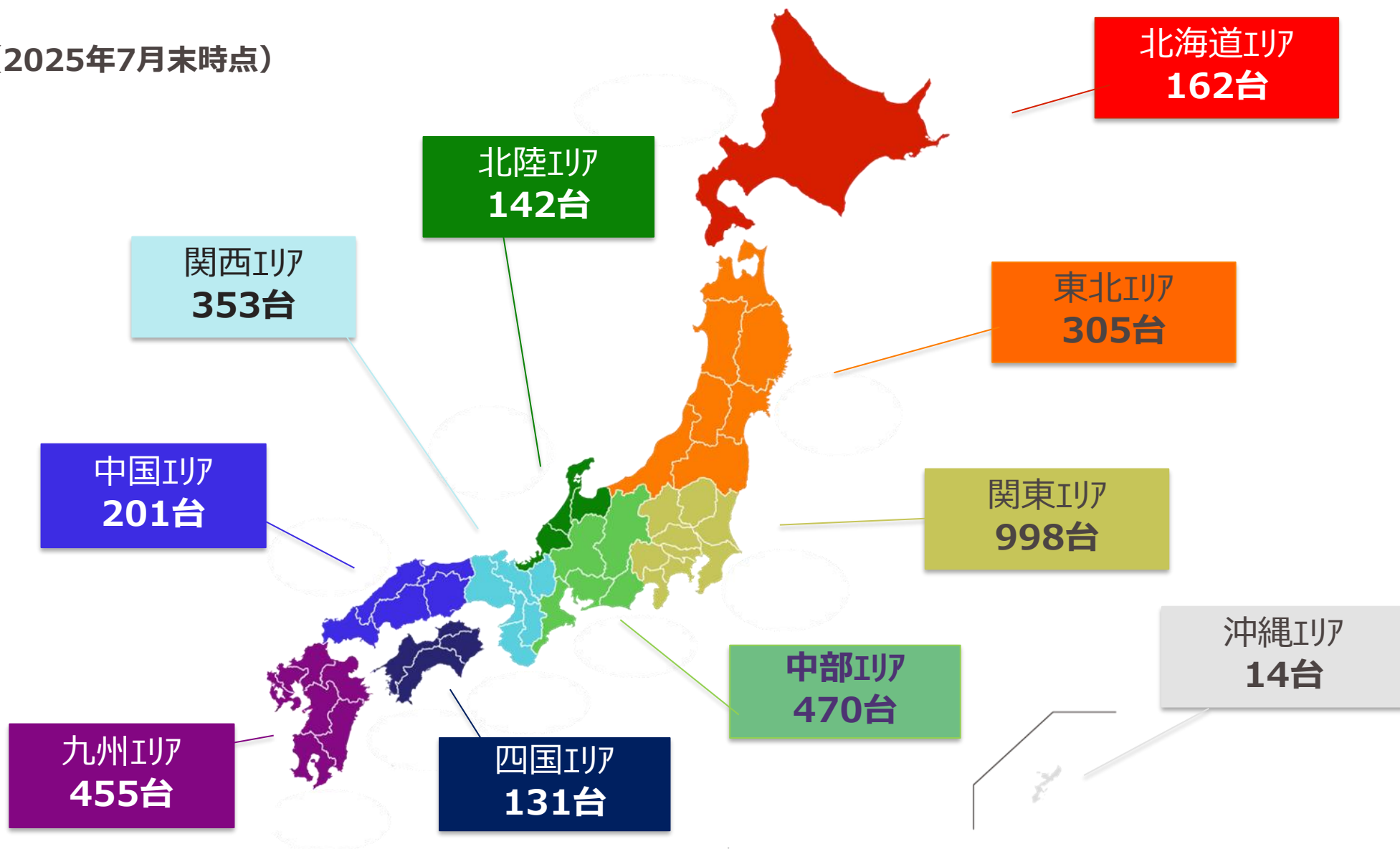
⑧充電器設置者への返金

割引前の正規の充電料金相当を返金しますので設置者にご迷惑はお掛けしません。

割引対象急速充電器（約3,200台）の分布

3/14

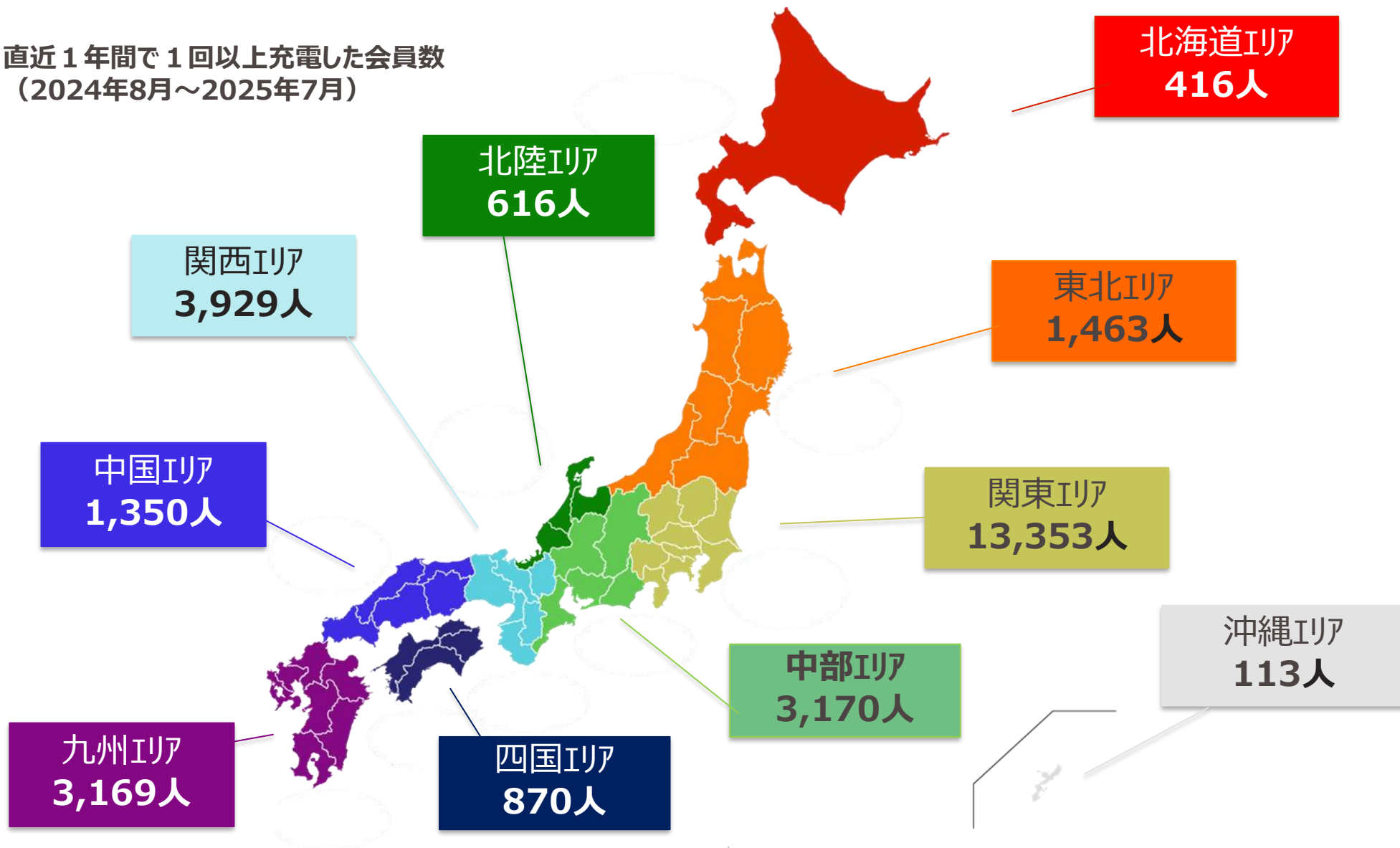
（2025年7月末時点）



全国のIQ電会員（アクティブユーザー約28,500名）の分布

4/14

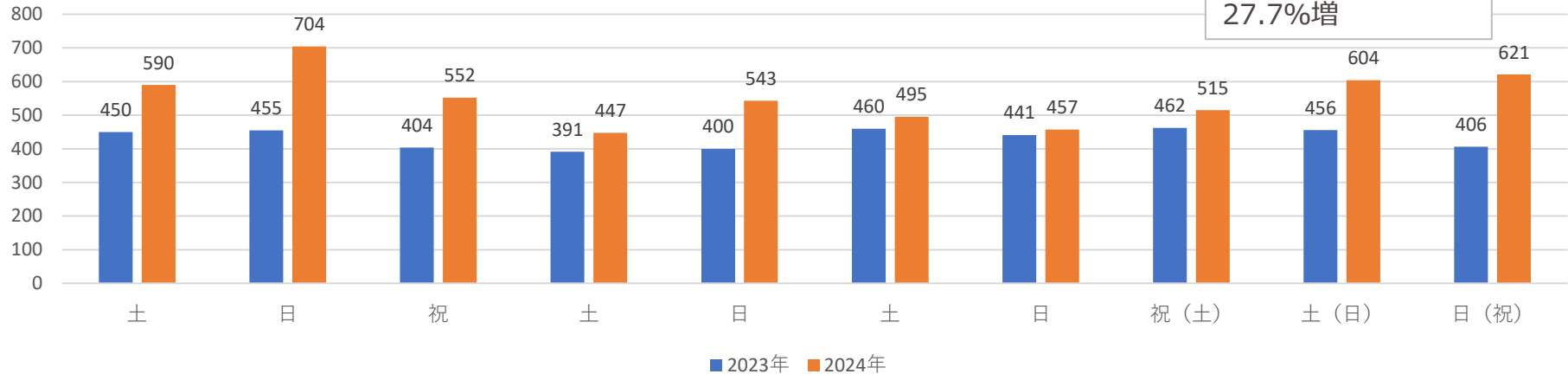
直近1年間で1回以上充電した会員数
(2024年8月～2025年7月)



		北海道	東北	東京	北陸	中部	関西	中国	四国	九州	沖縄
9月1日	日					15				39	
9月8日	日									30	
9月24日	火									42	
9月26日	木									18	
9月29日	日									57	
10月6日	日							21		38	
10月9日	水									148	
10月10日	木									170	
10月11日	金							34		154	
10月12日	土					12	38	93	15	202	
10月13日	日		74		5	41	226	110	40	302	
10月14日	月							7	10		
10月20日	日		22				81			164	
10月27日	日									48	
10月30日	水							16		59	
11月3日	日		94		4	184	166	148	82	354	
11月4日	月		28			19		40	46	171	
11月5日	火									24	
11月6日	水								30	117	
11月7日	木									104	
11月8日	金							82	39	66	
11月9日	土							46	69		
11月10日	日								96		
11月11日	月								30	111	
11月12日	火								15	154	
11月13日	水								15	137	
11月14日	木								65	43	
11月17日	日								22		
11月18日	月								25		
11月20日	水								30	6	
11月21日	木								25		
11月22日	金								27	25	
11月23日	土								51	24	
11月24日	日								71	63	
11月25日	月									19	

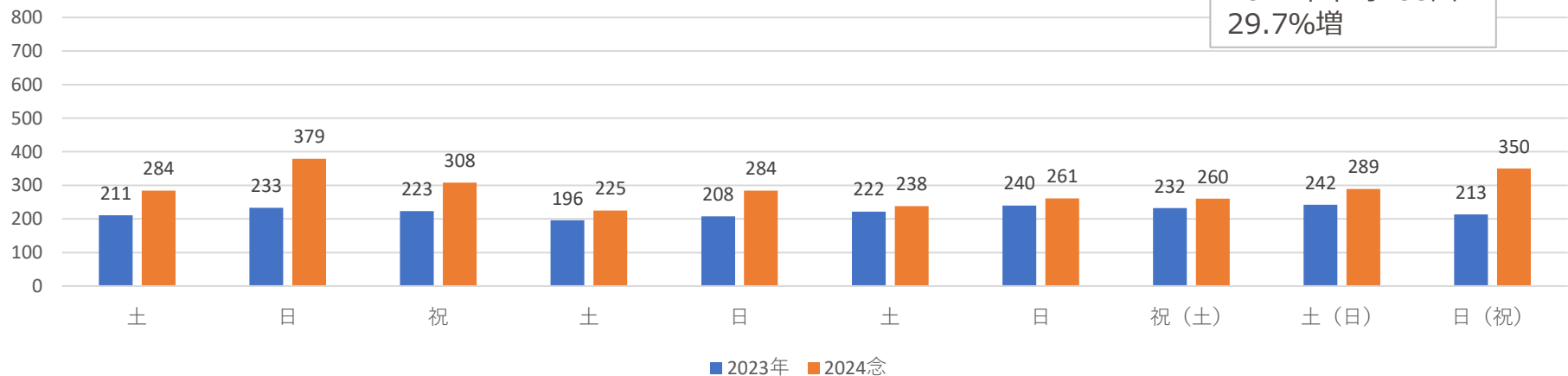
10月第3週～11月第1週の土日祝日の終日充電回数

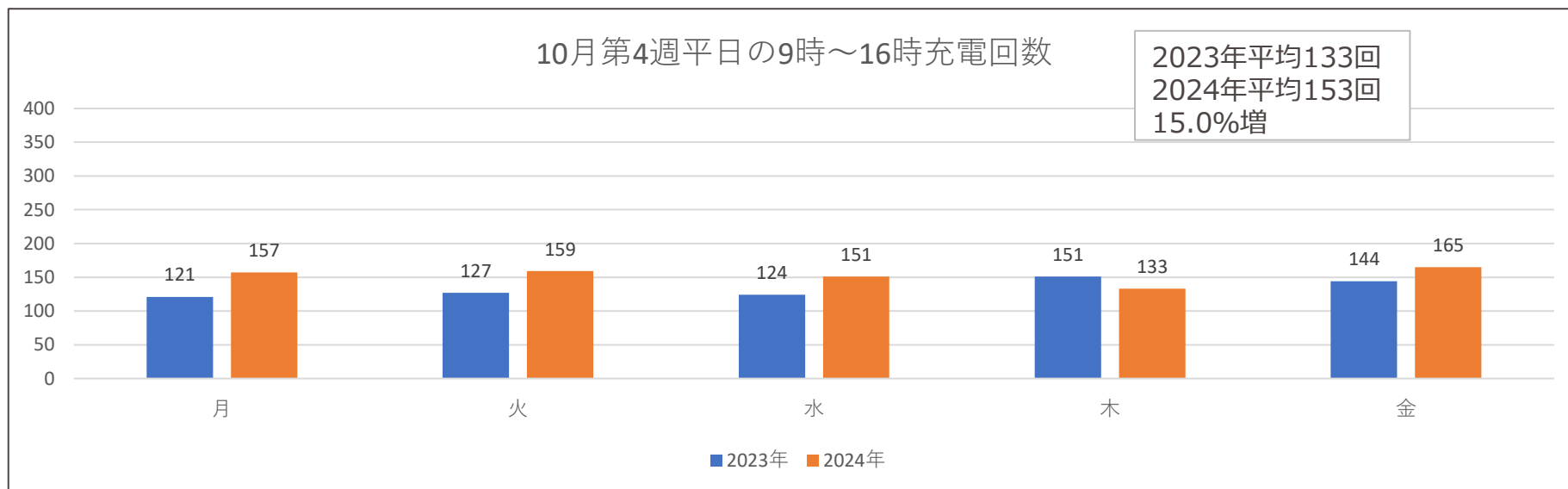
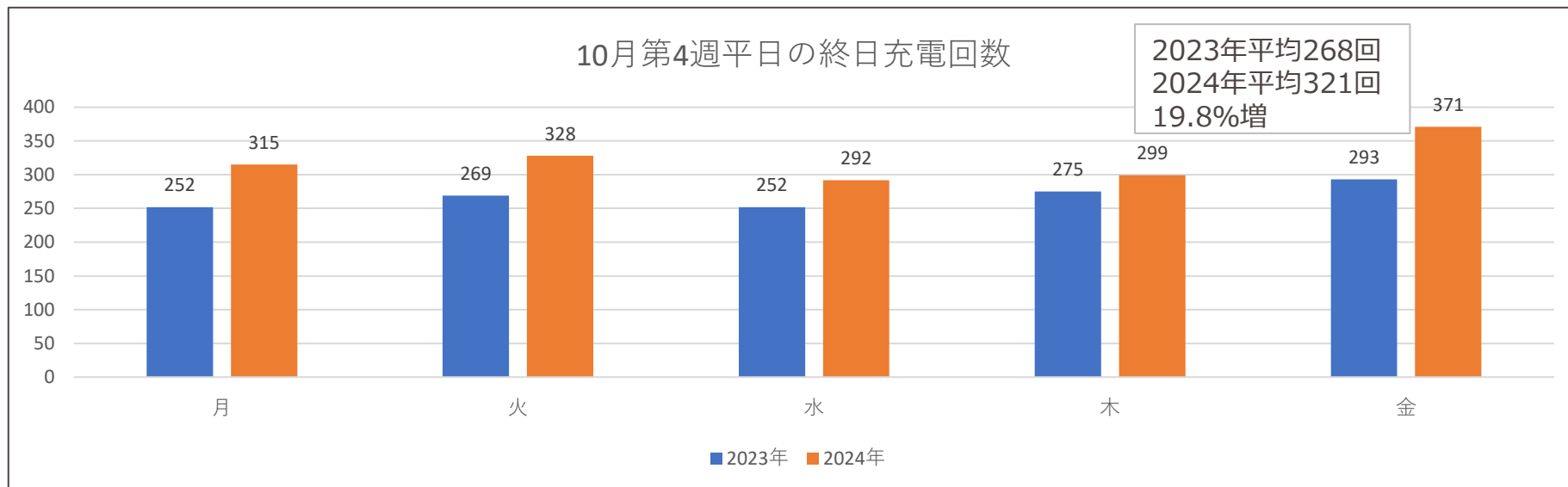
2023年平均433回
2024年平均553回
27.7%増



10月第3週～11月第1週の土日祝日の9時～16時充電回数

2023年平均222回
2024年平均288回
29.7%増





<参考資料>
GW実証報告書抜粋

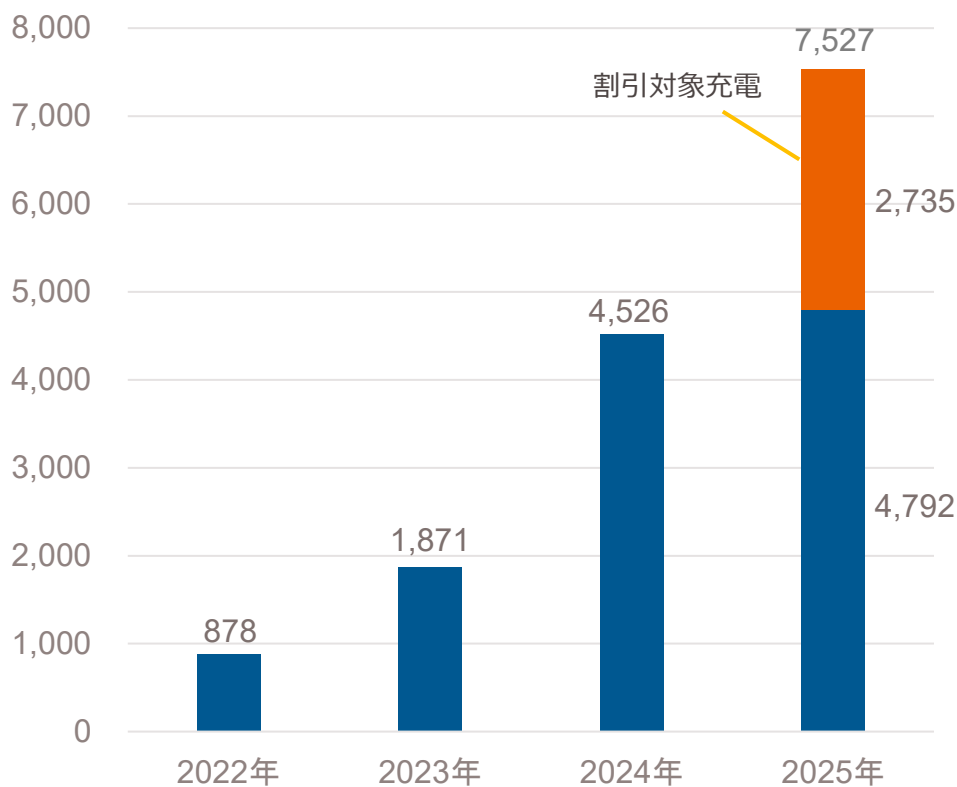
実証結果①割引通知と太陽光抑制実績

9/14

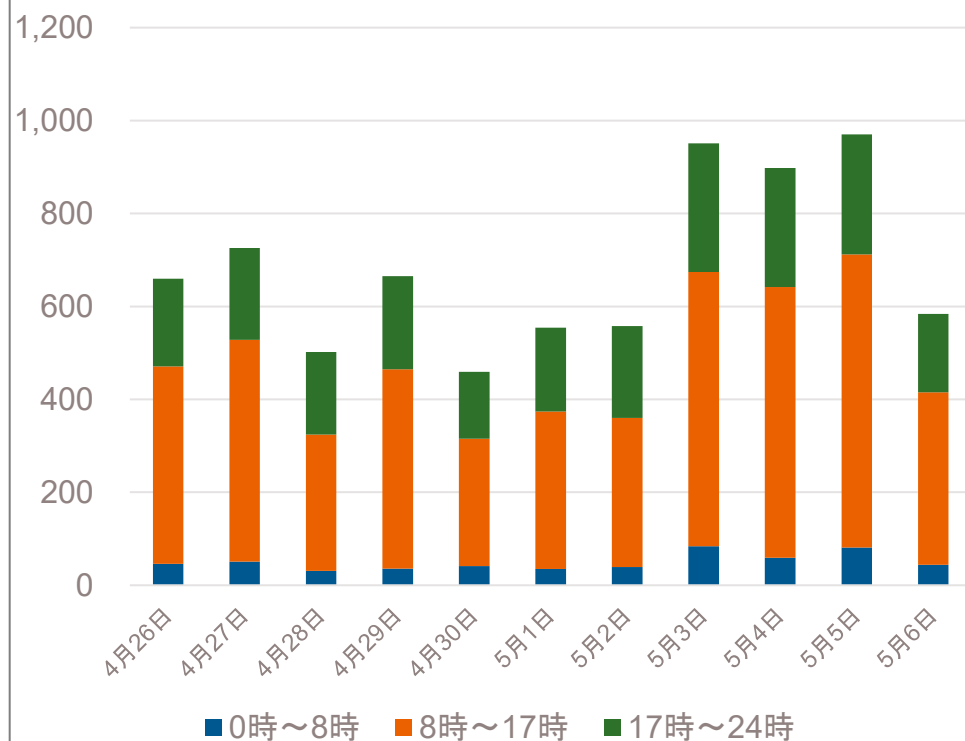
①制御なし⇒白 ②制御あり・割引あり⇒緑 ③制御あり・割引なし⇒ピンク ④制御なし・割引30%以上⇒青

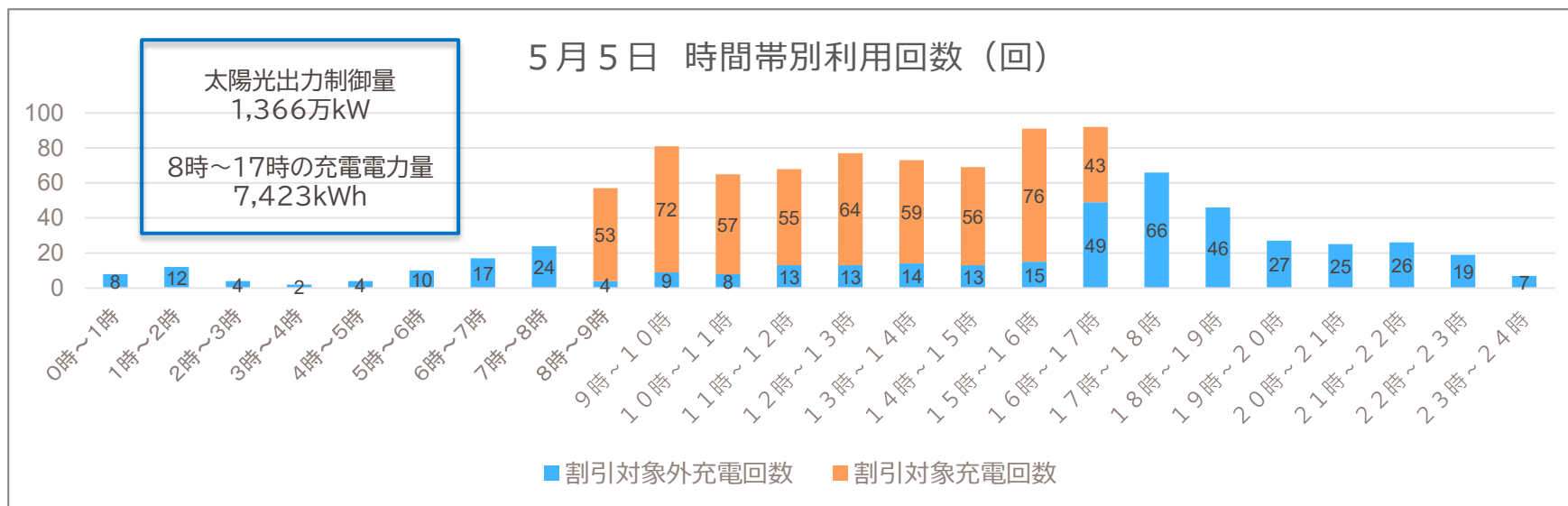
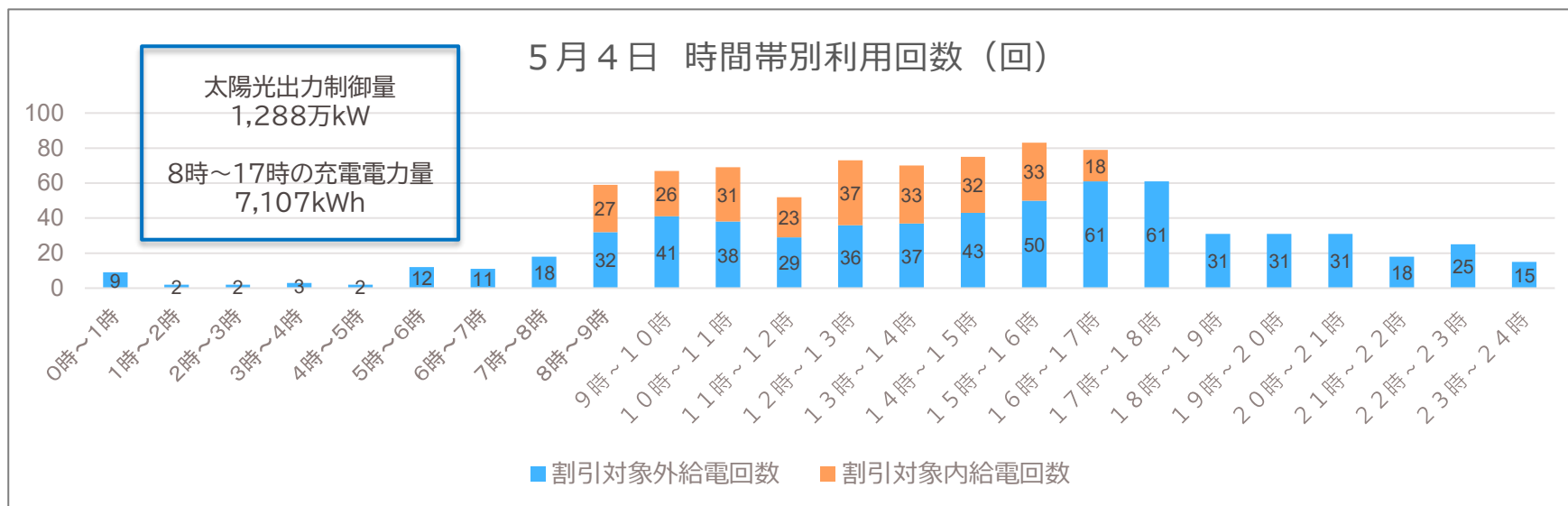
		北海道	東北	東京	北陸	中部	関西	中国	四国	九州	沖縄
4/26(土)	割引率	-	50%	10%	20%	50%	50%	50%	50%	50%	10%
	太陽光出力制御量(万kW)	31	418	0	3	104	112	106	113	392	0
4/27(日)	割引率	-	50%	10%	10%	30%	50%	50%	50%	50%	10%
	太陽光出力制御量(万kW)	55	470	0	0	189	235	224	115	429	1.6
4/28(月)	割引率	10%	10%	-	-	-	-	-	-	-	-
	太陽光出力制御量(万kW)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4/29(火)	割引率	-	-	10%	-	50%	50%	50%	50%	50%	10%
	太陽光出力制御量(万kW)	0	177	0	0	48	134	72	109	424	0
4/30(水)	割引率	10%	10%	-	-	-	-	40%	40%	50%	-
	太陽光出力制御量(万kW)	0	241	0	0	47	0	52	90	284	0
5/1(木)	割引率	10%	50%	10%	20%	40%	40%	40%	40%	50%	-
	太陽光出力制御量(万kW)	0	245	0	0	6	0	75	26	19	0
5/2(金)	割引率	10%	-	-	-	20%	20%	20%	20%	50%	10%
	太陽光出力制御量(万kW)	0	70	0	0	0	0	0	83	396	0
5/3(土)	割引率	-	-	20%	10%	50%	50%	50%	50%	50%	20%
	太陽光出力制御量(万kW)	14	356	0	1	95	211	135	130	386	0
5/4(日)	割引率	-	-	-	-	30%	30%	50%	50%	50%	10%
	太陽光出力制御量(万kW)	27	213	0	0	91	170	150	128	509	0
5/5(月)	割引率	10%	50%	10%	20%	50%	50%	50%	50%	50%	-
	太陽光出力制御量(万kW)	15	344	0	0	98	236	161	108	404	0
5/6(火)	割引率	20%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	太陽光出力制御量(万kW)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

GW充電回数の推移（全国）

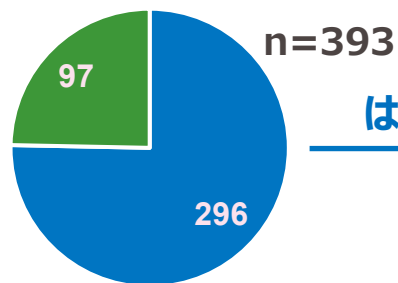


日別時間帯別利用回数





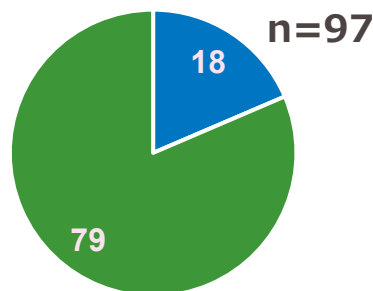
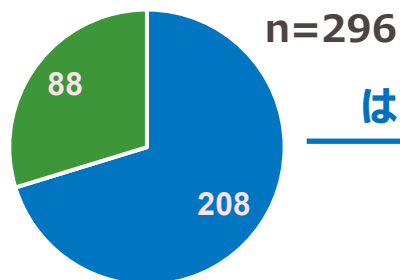
GW期間中に充電をしましたか



はい

■ はい ■ いいえ

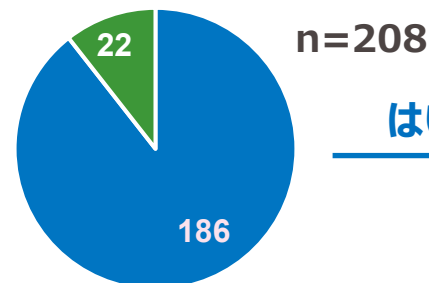
いいえ

ゴールデンウィーク期間中に
充電しなかった理由■ キャンペーンを知ら
なかった■ キャンペーンを知って
いたが、利用する機
会がなかったキャンペーンを知って
充電をしましたか

はい

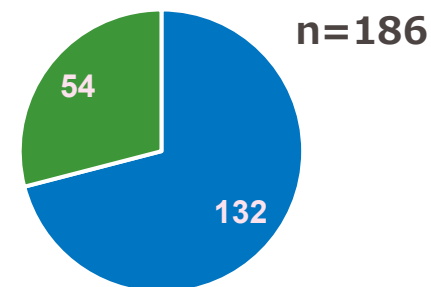
■ はい ■ いいえ

割引時間帯に充電をしましたか



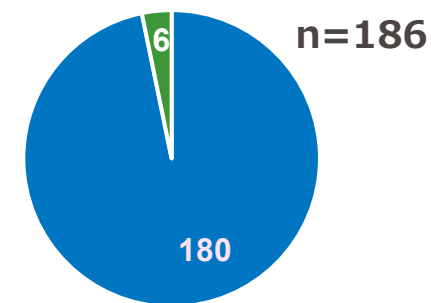
はい

■ はい ■ いいえ

太陽光由来の電気での
充電と知っていましたか

■ はい ■ いいえ

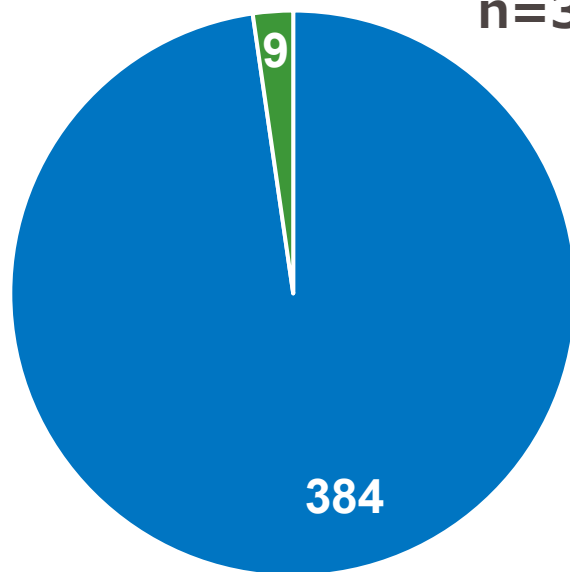
環境にやさしい取り組みでありますか



■ はい ■ いいえ

今後もこのようなキャンペーンが
あれば参加しますか

n=393



■ はい ■ いいえ

お客様の声

- ・金額以上の価値がある企画だと感じた。
- ・こういったキャンペーンが常にあると、少し遠くてもエコQ電を使おうかなという気持ちになる。
- ・このような活動をもっとしてほしい。
- ・今後も定期的に継続してほしい。
- ・宣伝をもっとしてほしい。
- ・高速道路上に充電器を増やして欲しい。
- ・キャンペーン時期だと充電する車も多く、どこも埋まって充電できなかった。
- ・システム不具合により、利用ができなかった。
- ・関東地区は割引が低かった。
- ・出かけた先に対象の充電器がなかった。
- ・エコQ電が利用できる充電器を増やしてほしい。 など

地域毎の充電実績から、割引率の低い日より高い日の方が充電回数が多いことを確認しました。

また、アンケートから、キャンペーンを知って充電された方の約 9 割が割引時間帯に充電されたことを確認しました。

このことから、今回の実証により価格誘導による効果はあったと言えます。

一方で、全国的に太陽光余剰が溢れているゴールデンウィークにおいては、抑制電力 (kW) に対しEV充電電力量 (kWh) は微々たる量でした。

今回参加していただいた会員（実証期間中に充電した方）は約35百人でしたが、この取組みを継続していくことで現在のEV・PHEVユーザー約60万人に広まれば（約170倍）、また、EV・PHEVの普及率が今の10倍に拡大すれば、相当量の太陽光余剰が有効活用できるのではないのでしょうか。

また、アンケート結果においても 98 %の方が継続を希望されています。

以上のことから、この取組みを今回限りで終わらせるのではなく、継続していくことに意義があるのではないかと考えています。